

8-4-19 道路構造物専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会・WG・対外活動記録

- a) 道路構造物専門委員会開催：11回（定例）
 - b) 各WGへの参加：随時（公益活動WG、生産性向上WG、維持管理対策WG、業務体系WG、道路会社業務検討WG、対外活動委員会WG、照査特別WG、改定道路橋示方書連絡WG、設計ソフトウェア連絡WG、道路橋技術相談窓口WGなど）
 - c) 対外活動（外部機関委員会等）への参画：随時（日本道路協会 各種便覧・WG等12委員会、土木学会 各種指針等3委員会、その他 国交省・一般社団法人・国総研等10委員会への対応）
- #### (2) 設計体系・新たな技術等に関する検討
- a) H29 道路橋示方書による設計ソフトの妥当性確認や差異を検証し、協会が主体的に活用できるソフトとするための活動を実施した。
 - b) BIM/CIM 推進委員会活動、CIMの諸基準改定・試行による評価・調査から維持管理までのプロセス検証・ソフト開発への協力・実務者への展開検討など、関係するWG活動へ参加し、「i-Construction」推進に取り組んでいる。
 - c) H29 道示適用の各種設計便覧作成に関して、日本道路協会主催のWGに参加した。（PCコンポ橋設計計算例WG、コンクリート橋設計・施工便覧、杭基礎設計便覧、道路橋補修便覧、伸縮装置便覧等）
 - d) 新たに設立された「設計・計画便覧作成WG」は、成果に記載されるべき内容を具体的に記述するための視点や事例を取り纏めることを目的として参加している。
 - e) 国土技術政策総合研究所との共同研究「道路橋の性能評価技術に関する共同研究」、「既設道路橋群の維持管理計画の継続的改善に関する共同研究」へ参加し、道路橋の新技术導入に向けたガイドライン策定、道路橋の管理指標や状態評価指標・維持管理計画の策定に貢献している。

f) 土木学会主催の各委員会や基準改定・策定活動へ協会委員として参加した。

(3) 契約・報酬等に関する検討（国交省・各高速道路会社）

a) 契約に係る業務共通仕様書・設計歩掛について、実態に即した内容を検討し改善へ向けた協議を実施した。

b) 各高速道路会社との「実務レベルの課題を解決するための実務者懇談会」に係る資料の作成を行い懇談会に参画した。

(4) 成果品の品質確保、向上のための活動

a) 施工条件明示チェックシート（案）活用へ向けて、具体的な活用事例を委員会参加企業で共有し、今後の業務への展開を検討した。設計品質を確保するため、最も重要な施工における条件を明確にし、詳細設計の品質を大きく改善するものである。

b) 橋梁詳細設計業務における照査について、H29改定の道路橋示方書に準拠する成果に対して、ダブルチェック、第三者照査等建設コンサルタントが実施しなければならない品質確保へ向けて改善・改良を検討している。

c) 技術部会の関連専門委員会・各WGとともに、オンライン開催した「令和2年度品質セミナー“エラー防止のために”」の内、橋梁に関する事例収集・テキスト作成を担当した。

(5) 道路構造物に係る意見照会やアンケート等への対応

主に橋梁の設計体系、設計技術、契約・報酬等に関する意見照会やアンケートへの対応を実施した。

2. 次年度の活動について

次年度も関係するWGや関係機関等との活動を継続実施し、新たな課題への対応も実施する。

(1) 橋梁等の道路構造物に関する設計体系や構造設計技術、報酬等に係る検討、国交省・国総研等との共同研究や意見交換会への参加

(2) 成果品の品質確保・向上のための活動

（道路構造物専門委員会委員長 鷲見 英吾）